復刻版

近代日本博覧会資料集成 第5回配本

子ども・家庭・婦人博覧会

全4巻

［監修・解説］木村涼子（大阪大学大学院教授）

「近代家族」の成立と展開、
家庭生活の改善・合理化、
国家と結びつく児童中心主義、
一九三〇年代の国際情勢による
「子ども」「婦人」観の変遷、
ファシズム的優性思想など、
大正～昭和戦前期の諸相を反映した
貴重な博覧会資料を集成！

国書刊行会

監修にあたって

木村涼子（大阪大学大学院教授）

万国博覧会に刺激を受けて発展した内国勧業博覧会は、博覧会というイベントを定着させた。内国勧業博覧会においても、子どもや婦人は入場者として意識されており、子ども連れの家族が楽しめる娯楽的なもの、教育や家庭教育に関する啓蒙的もしくは新しい商品を紹介する展示、消費者としての女性を引き付ける展示などが設置されていた。

しかし大正期になると、子どもや婦人に特化した博覧会が新たに流行し、「子ども」「家庭」「婦人」というキーワードを冠した博覧会名称が増えていく。三つのキーワードを結ぶ中核には「（家庭の）外で働く」夫と「（家庭の）内を守る」妻という近代的な性別分業をおこなう夫婦とその子どもを基本単位とする「近代家族」がある。男性が公的領域で生産活動をおこなうのに対して、女性は私的領域である家庭において家事育児と家庭運営のための消費生活をおこなう。分業によって支えあう夫婦は、ふたりの「愛の結晶」である子どもを大切に生み育てる。これらの博覧会は、この「近代家族」を柱として、国家が求める家族像と私的な領域としての家族の強調、児童中心主義と小国民育成、レジャー娯楽志向と啓発・強化活動志向、性別役割分担と女性の地位の向上、国家主義と市場主義など、対立ないしは別方向を指したベクトルが交差する場となっている。多様な側面が、あるときは混然一体と総合的に、またあるときは矛盾や対立を露呈したままバラバラに提示されており、極めて興味深い。

本配本では、その三つのキーワード「子ども」「家庭」「婦人」を冠する、大正期から一九三〇年代にかけての国内の博覧会に関する記録冊子などを収集した。それらの資料をつぶさに読み込んでいくと、近代の「子ども」「家庭」「婦人」概念をめぐるポリティクスが透けて見えてくるだろう。近代史をめぐる様々なテーマに本博覧会資料が活用されることを切に願う。

復刻版　近代日本博覧会資料集成　第5回配本

『子ども・家庭・婦人博覧会』

［監修・解説］木村涼子（大阪大学大学院教授）

第１巻　総 433 頁
◆通俗教育 こども博覧会報告（1916 年）
◆皇孫御生誕記念 こども博覧会誌（1926 年）
第２巻　総 515 頁
◆皇孫御誕生記念 京都こども博覧会誌（1927 年）
第３巻　総 235 頁
◆長政公参百年祭記念 家庭博覧会写真帖（1922 年）
◆皇孫御生誕記念 こども博覧会記念写真帖（1926 年）
◆こども家庭博覧会図録（1931 年）
第４巻　総 415 頁
◆万国婦人子供博覧会報告（1935 年）
◆日本婚礼進化博覧会誌（1936 年）

2018年6月刊行

全４巻＋解説別冊　ISBN978-4- 336-06230- 7

揃定価：本体 87,000円＋税（分売不可）

原本提供：
京都女子大学図書館
神戸市立図書館
九州大学附属図書館
乃村工藝社
広島大学図書館

書店外商のみなさまへ

博覧会資料は、幅広い分野での活用が期待されます。複数の大学学部への販売促進をお願い申し上げます。（太字は本配本に特に関係の深い分野）

●文学部系→近代史、**女性史**、文学史、軍事史、人類学、植民地研究
●教育学部系→**教育史**、博物館学
●保育学部系→**幼児保育史、児童文化**
●経済学部・商学部・法学部系
→経済史、産業史、交通史、社史、行政史
●社会学部系→メディアスタディーズ
●観光学部系→観光学
●理工学部系→建築史、都市計画、技術史
●家政学部系→服飾史、住居史
●芸術学部系→美術史、工芸史、デザイン史、音楽史、演芸史

国書刊行会　〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15　Tel.03-5970-7421　Fax.03-5970-7427
http://www.kokusho.co.jp　e-mail:info@kokusho.co.jp

帳合・書店印

申込書
この注文書で最寄りの書店へお申込みください。

国書刊行会
『復刻版　近代日本博覧会資料集成
子ども・家庭・婦人博覧会』　（　　）部　を申込みます。

お名前

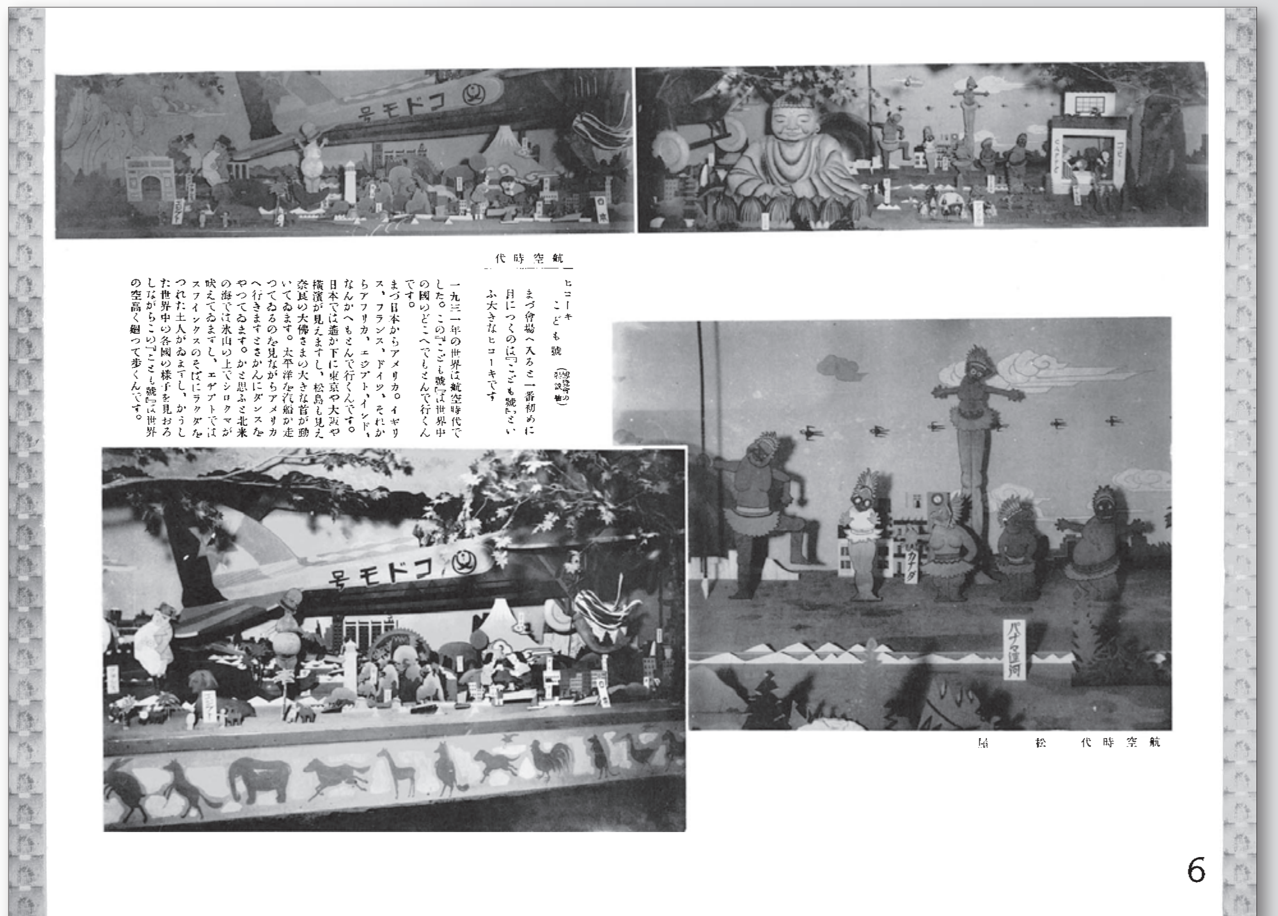
ご住所

電話
FAX

本文組見本（52％縮小）

『日本婚礼進化博覧会誌』（1936年）より

『皇孫御生誕記念　京都こども博覧会誌』（1927年）より



『こども家庭博覧会図録』（1931年）より

シリーズ構成内容

復刻版　近代日本博覧会資料集成

壮大なメディアイベントとして多様化していく大正・昭和戦前期の〈博覧会〉。所蔵先が極めて少ない公式報告書、写真帖などの諸資料を復刻し、経済史・メディアスタディーズなど様々な分野から注目を浴びる博覧会の諸相を浮かび上がらせる。

［シリーズ総監修］　津金澤聰廣（関西学院大学名誉教授）／山本武利（早稲田大学名誉教授）

【好評既刊】

『植民地博覧会Ⅰ　台湾』全3巻

［編・解説］林恵玉（中央大学講師）

第１巻　始政四十周年記念台湾博覧会誌
第２巻　始政四十周年記念台湾博覧会協賛会誌
第３巻　始政四十周年記念台湾博覧会写真帖

揃定価：本体 89,000円+税　ISBN978-4-336-05545-3

『植民地博覧会Ⅱ　満洲』全5巻

［編・解説］川崎賢子（日本映画大学教授）

第１巻　大連市催満洲大博覧会誌
第２巻　大連市催満洲大博覧会協賛会誌
第３巻　風薫る大連と満洲大博覧会／満洲大博覧会案内／満洲風物写真帖
第４巻　大連勧業博覧会誌
第５巻　大連勧業博覧会記念写真帖

揃定価：本体 93,000円+税　ISBN978-4-336-05552-1

『紀元二千六百年記念日本万国博覧会』

［監修・解説］加藤哲郎（一橋大学名誉教授）
［解説・解題］増山一成（国際日本文化センター共同研究員）

【第Ⅰ期】全２巻

第１巻　『万博』第１号～第19号（昭和11～12年）
第２巻　『万博』第20号～第43号（昭和13～14年）

揃定価：本体 75,000円+税　ISBN978-4-336-05849-2

【第Ⅱ期】全３巻

第３巻　『万博』第44号～第53号
　　　　『博展』第１号～第８号（昭和15～16年）
第４巻　『博展』第９号～第34号（昭和17～19年）
別　巻　「紀元二千六百年記念日本万国博覧会」関連諸資料

揃定価：本体 98,000円+税　ISBN978-4-336-05850-8